

洪水を防ぐ
気温調節する

水循環の一役

暑さを和らげる

水浄化

生き物をはぐくむ

たんぼ

がつなぐ命

地下水をつくる

渡り鳥の中継地



たんぼの役割

第一には食糧生産の場。稲を育て実を収穫するのがその役割▶埼玉県東部は昔は沼や湿地が広がっていたから、昔からいた植物や虫たちがたんぼで命をつないでいる▶また、シギやチドリの渡り鳥の中継地。春、東南アジアなどからやってきた彼らが日本の水田でたくさん食べて体力を回復し、さらに北の繁殖地に向け旅立つ▶たんぼにたたえられた水が蒸発、上空で雲となり雨になる。水循環の一翼を担っている▶また、たんぼの水は地中にしみこみ地下水となって周囲の水源となる。その際地中でろ過され水はきれいになる▶大雨の時、たんぼが水を受け止めることで周囲の洪水を防ぐ▶水田があることで真夏の暑さを和らげている。水田がある地域では数度気温が低いそうだ▶そして私たちの食文化。おいしい米があることで多様な食文化が育っている

たんぼで命をつなぐ生きものたち

たんぼで見られる植物に絶滅が心配されている種は多い▶アマガエルやトウキョウダルマガエルはたんぼに来て産卵▶アキアカネは秋に水田に産卵、春に孵化したヤゴは初夏に成虫に。稲作サイクルに合わせた一生▶カブトエビやホウエンエビもたんぼが生きる場▶イナゴやバッタ、ヨコバイやガの仲間▶小さな虫がいればそれを捕らえるクモやカマキリも▶バッタを食べる鳥、泥の中のドジョウやザリガニを捕らえる鳥▶ツバメはたんぼの泥で巣作り▶たんぼでは多様な生きものが暮らしている